

# 2016年3月期第2四半期 決算説明資料

8105 堀田丸正株式会社

<http://www.pearly-marusho.co.jp/>

2016年3月期第2四半期

業績概要

## 2016年3月期 第2四半期累計期間 報告セグメント別の状況(連結) 3

## ◆ セグメント別売上実績

(単位:百万円)

		15/9	前年同期比	前年利益差	売上概況
洋装事業	売上高	1,297	90.3%		
	AP卸	220	76.7%		前下期大手得意先の倒産により減収、新規得意先の確保が進むも貢献せず。
	ニシダブランド	253	94.4%		主力店舗の不振と、新ブランドの低迷により減収。
	丸福卸	824	93.6%		OEMは堅調に推移するも卸売部門の百貨店店頭不振により減収。
	営業利益	△ 43	—	△ 29	
和装事業※	売上高	820	104.6%		
	和装東	329	98.8%		百貨店販売は消費回復し堅調に推移するも、専門店の疲弊が顕著となる。
	和装西	372	82.3%		百貨店の閉鎖による撤退と、主力店舗販売員の退職による補充が遅れ減収。
	吉利卸	119	—		今期8月に和装小物卸の事業譲受により増収。
	営業利益	△ 9	—	△ 18	
意匠燃糸事業	売上高	806	112.0%		
	国内	449	106.9%		中国市場が依然として堅調に推移し、日本国内でもストレッチ素材を中心とした高価格帯の製品が順調。
	上海	357	119.0%		
	営業利益	29	—	+8	
寝装事業	売上高	316	101.6%		量販店取引が回復し、ギフト販売も順調に推移し増収となる。
	営業利益	9	—	△ 1	

※ 和装事業に含む吉利卸は、平成27年8月に事業譲受した株式会社吉利を表したものです。

## 2016年3月期 第2四半期累計期間業績予想に対する状況

(単位:百万円)	2016/3期 第2Q連結 計画	2016/3期 第2Q連結 実績	公表数値 差異	概要
売上高	3,325	3,242	△83	不振の和装事業部及びニシダブランドでは店頭の販売力が回復せず。和装小物の上乗せもあるも売上計画に未達。
営業利益	△33	△71	△38	
経常利益	△31	△71	△40	
親会社株主に帰属する四半期純利益	△40	△79	△39	

2016年3月期

## 第2四半期累計期間個別損益計算書

5

(単位:百万円)	2016/3期第2Q		2015/3期第2Q実績※	概 要
	実績	前年同期比		
売上高	2,798	△ 138	2,936	意匠燃糸事業は引続き好調に推移するも、和装事業・洋装事業の百貨店取引の低迷により減収。 販管費比率は、合併効果などもあり業務統合が進み本部コストの低減により低下。
売上総利益	886	△ 73	959	
売上総利益率	31.7%	△1.0Pt	32.7%	
販売管理費	977	△ 73	1,050	
販管費比率	34.9%	△0.9Pt	35.8%	
営業利益	△ 91	+0	△ 91	<b>売上総利益の減少を、販売管理費の削減によってカバーする。</b>
営業利益率	△3.2%	△0.1Pt	△3.1%	
経常利益	△ 87	△ 5	△ 82	
経常利益率	△3.1%	△0.3Pt	△2.8%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	△ 92	△ 270	178	前期子会社売却益232百万円発生のため
四半期純利益率	△3.3%	△9.4Pt	6.1%	

※2015年3月第2四半期実績は合併前の丸福商事の数値を足したものであり、実際の公表数値とは異なっております。

2016年3月期

## 第2四半期累計期間連結損益計算書

6

(単位:百万円)	2016/3期第2Q		2015/3期 第2Q実績	概 要
	実績	前年同期比		
売上高	3,242	△ 11	3,253	小物卸吉利の事業譲受による増加要因があるものの、既存不振事業の減収をカバーできなかった。
売上総利益 売上総利益率	1,036 32.0%	△ 7 △0.1Pt	1,043 32.1%	吉利の商品評価差額により前年水準を確保。
販売管理費 販管費比率	1,107 34.2%	△ 26 △0.7Pt	1,133 34.8%	不採算部門の人員削減と、販売費を削減。
営業利益 営業利益率	△ 71 △2.2%	+18 +0.6Pt	△ 89 △2.8%	和装事業及び洋装事業の減収を、M & Aにより獲得した(株)吉利が寄与し増益。
経常利益 経常利益率	△ 71 △2.2%	+5 +0.1Pt	△ 76 △2.3%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益 四半期純利益率	△ 79 △2.5%	△ 217 △6.7Pt	138 4.3%	前期では子会社売却益232百万円が発生しており前年同期比の改善はならなかった。

2015年9月期

## 連結貸借対照表及びキャッシュ・フロー計算

7

連結貸借対照表				
(単位:百万円)	15/9	15/3	前期末 増減	前年同期 比増減
流動資産	3,665	4,034	△ 370	+223
現金・預金	630	986	△ 356	+246
受手・売掛金・電子債権	1,460	1,455	+5	+37
棚卸資産	1,421	1,459	△ 38	+38
固定資産	1,078	1,089	△ 11	△ 591
有形固定資産	571	576	△ 5	△ 2
無形固定資産	35	42	△ 7	△ 33
投資その他の資産	472	471	+1	△ 556
総資産	4,742	5,123	△ 380	△ 369
流動負債	1,638	1,835	△ 197	△ 65
支手・買掛金・電子債務	1,071	1,309	△ 238	△ 192
短期借入金	284	240	+44	+108
1年内長期借入金	51	51	△ 1	△ 8
固定負債	167	191	△ 24	△ 33
長期借入金	91	117	△ 26	△ 51
負債合計	1,804	2,026	△ 221	△ 98
純資産合計	2,937	3,097	△ 159	△ 272
負債・純資産合計	4,742	5,122	△ 380	△ 369

(単位:百万円)	15/9	14/9
営業活動によるキャッシュ・フロー	△ 98	△ 60
税金等調整前当期純利益	△ 71	155
関係会社株式売却損益	—	△ 233
売上債権の増減額(△は増加)	237	172
仕入債務の増減額(△は減少)	△ 240	△ 126
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 181	52
有形固定資産取得による支出	△ 1	△ 6
貸付による支出	△ 1	△ 300
貸付金の回収による収入	12	100
営業譲受による支出	△ 200	—
関係会社株式売却による収入	—	255
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 77	△ 108
長期借入金返済による支出	△ 26	△ 33
短期借入金の純増減額(△は減少)	44	16
配当金の支払い	△ 91	△ 91
現金及び現金同等物の増減額	△ 356	△ 117
現金及び現金同等物の期首残高	986	496
現金及び現金同等物の期末残高	630	379

2016年3月期  
連結業績予想



## 2016年3月期 通期セグメント別予想

## ◆ セグメント売上・セグメント利益実績

(単位:百万円)

	16/3	前年同期比	前年利益差	売上高伸び率		下期売上概況	
				上期実績	下期計画		
洋装事業	売上高	2,780	94.4%		90.3%	99.8%	
	AP卸	469	79.6%		76.7%	84.4%	大手得意先倒産の影響は残るものの、新規得意先の確保により売上拡大。
	ニシダブランド	553	94.1%		94.4%	96.0%	在庫処分は一巡し、店舗販売員のモチベーションアップによりプロパー販売に注力。
	丸福卸	1,758	99.4%		93.6%	106.3%	OEM(ベビー子供・HF)の販路拡大により伸張、自社ブランドは受注販売に特化し縮小。
	営業利益	3	—	+15			
和装事業	売上高	2,220	135.9%		104.6%	168.1%	
	和装東	710	102.7%		98.8%	109.2%	百貨店販売の消費回復と大型受注により伸張。
	和装西	832	88.2%		82.3%	95.5%	新店効果と催事強化により回復基調。
	吉利卸	678	—		—	—	今期8月に和装小物卸の事業譲受により増収。
	営業利益	23	—	+29			
意匠燃糸事業	売上高	1,852	107.9%		112.0%	105.8%	
	国内	1,155	103.7%		106.9%	102.8%	国内は上期に受注の前倒しと、得意先のブランド戦略からの撤退により伸び率鈍化。
	上海	710	115.6%		119.0%	112.5%	中国市場では新用途向けの市場を開拓し新規取引先を拡大。
	営業利益	88	—	+9			
寝装事業	売上高	672	102.0%		101.6%	102.5%	上期同様順調に推移。
	営業利益	30	—	+5			

## 2016年3月期 通期連結業績予想に対する状況

## ◆2016年3月期 通期連結業績予想

(単位:百万円)	2016/3期 連結予想	2015/3期 連結実績	前期比較	2016/3期 連結当初 計画	連結当初 比較
売上高	7,519	6,915	+604	7,195	+324
営業利益	37	△ 192	+229	48	△ 11
経常利益	39	△ 166	+205	52	△ 13
親会社株主に帰属 する当期純利益	16	7	+9	30	△ 14

## ◆2016年3月期 通期個別業績予想

(単位:百万円)	2016/3期 連結予想	2015/3期 連結実績	前期比較
売上高	6,100	5,473	+627
経常利益	9	△ 158	+167
親会社株主に帰属 する当期純利益	0	△ 56	+56

## 〈連結当初比較〉

売上高は、吉利のM&Aによる増加が有りましたが、洋装事業の底上げが遅れ大幅な増収に至らず。

## 〈個別前期比較〉

売上高は、丸福の合併により増加。  
経常利益は、前期倒産の貸し倒れの減少、コストの合理化で増収。

## 2016年に向けた施策

## I. 収益力の改善取組

## [商品回転率のアップによる原価率引き下げ]

## ◆ 2015年度滞留在庫引当金

合計(単位:百万円)	83
洋装事業	51
和装事業	24
意匠撚糸事業	8
寝装事業	0

## ◆ 2014年度在庫回転率

(単位:百万円・回)	商品在庫	回転率
洋装事業	570	3.5
和装事業	620	1.5
意匠撚糸事業	180	5.0
寝装事業	55	8.8

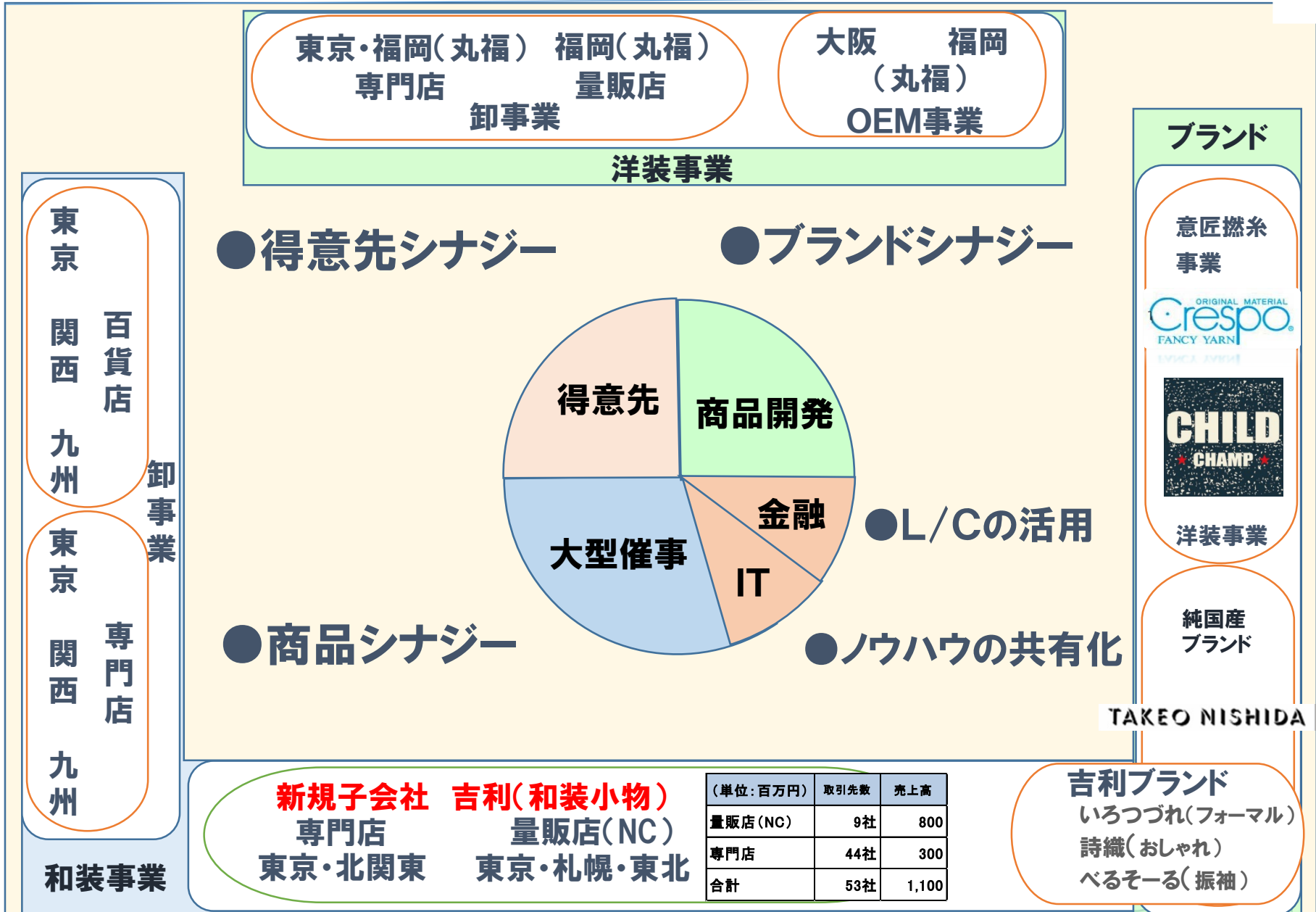
## ◆ 在庫削減目標 3億円

(単位:百万円)	在庫高	削減目標	2015年取組施策
洋装事業	440	△ 130	AP…委託販売の縮小 ニシダブランド…新ブランドの縮小・テレビ ショッピングからの撤退 丸福卸…OEM受託の生産拡大
和装事業	450	△ 170	受託販売の拡大・在庫処分の推進
意匠撚糸事業	180	0	備蓄在庫による顧客ニーズへの対応
寝装事業	50	△ 5	マットレス生産管理の精度向上

## II. シェア拡大の取組

	商品開発	顧客開拓	円安の対応
洋装事業 アパレル卸	新ブランド(パーリージュノン)の販路拡大	既存得意先のシェア拡大 新規顧客開拓の取組	価格転嫁による原価高の吸収
ニシダブランド	企画～販売までの生産体制の整備 早期展開によるプロパー販売の強化	ベテラン販売員の顧客管理による顧客拡大 不採算店舗の撤退	
丸福卸	自社ブランド(チャイルドチャンプ)のOEM生産強化	企画生産力を活かしたOEM生産方式によるシェア拡大 主力販売先(イオン)への子供服の拡大	海外生産拠点(カンボジア)の移行 為替リスクヘッジの取組
和装事業	コーナー(ショップ)型店舗運営の推進・販売員の採用・強化 新催事立案と継続的催事展の実施	百貨店への計画提案の早期立ち上げ・得意先見極め 九州エリアの営業拠点拡大 不採算店舗の撤退	
意匠燃糸事業	得意先ニーズの商品提案と絞込み	海外拠点(堀田上海)との連携強化 一流ブランド(企業)への供給拡大 若手営業社員の増員	海外市場の販路拡大 為替リスクヘッジの取組
寝装事業	高反発資材マットの開発	既存得意先のシェア拡大	価格転嫁による原価高の吸収

### III. 営業資産の活用による収益拡大



## 会社概要

商号	堀田丸正株式会社	
所在地	東京都中央区日本橋室町4丁目1番11号	
設立	1933年2月（創業1861年）	
上場	1974年4月（東京証券取引所 証券コード：8105）	
代表者	取締役会長 山野彰英 取締役社長 井澤 一守	
事業内容	・和装品、洋装品、寝装品、貴金属、宝石、毛皮製品等の卸売販売 意匠擦糸の製造・販売	
連結子会社	4社（2015年10月現在）	
資本金	1,975百万円	
発行済株式数	49,280千株（一単位：1000株） 3,396千株（自己株式数）（2015年9月30日現在）	
株主数	3,587名（2015年9月30日現在）	

## 堀田丸正グループの歩み

文久元年

明治27年10月

昭和31年2月

昭和49年4月

平成12年3月

平成16年9月

平成19年4月

平成19年4月

平成21年4月

平成21年6月

平成21年6月

平成22年6月

平成22年

平成24年3月

平成24年4月

平成25年4月

平成25年10月

平成26年4月

平成26年10月

平成27年8月

増田善兵衛により創業

日本橋大伝馬町にて呉服問屋を開業

五十鈴会 発会式(帝国ホテル於)

東京証券取引所市場第二部に上場

第三者割当増資により、ヤマノグループの一員へ

(株)丸正ベストパートナーグループ(人材管理)への転化(現・連結子会社)

堀田産業(株)吸収合併

タケオニシダ・ジャパン(株)グループ入り

得意先店舗引受け(ポコモロ 5店舗(婦人洋品店舗販売))

丸福商事(株)グループ入り

(株)ヤマジュエリーシステムズより事業譲受(絵麻亥由 6店舗(婦人洋品店舗販売))

得意先店舗引受け(絵麻亥由 2店舗)(婦人洋品店舗販売))

丸正創業150年に至る(西暦 1861年創業)

HMリテーリングス(株)設立(現・連結子会社)

和装小売事業譲受(HMリテーリングス(株))による新事業分野へ

タケオニシダ・ジャパン(株)吸収合併

(株)西田武生デザイン事務所の株式一部取得(現・連結子会社)

HMリテーリングス(株)をYHCへ売却

丸福商事(株)吸収合併

(株)吉利より事業譲受(和装小物卸売事業)